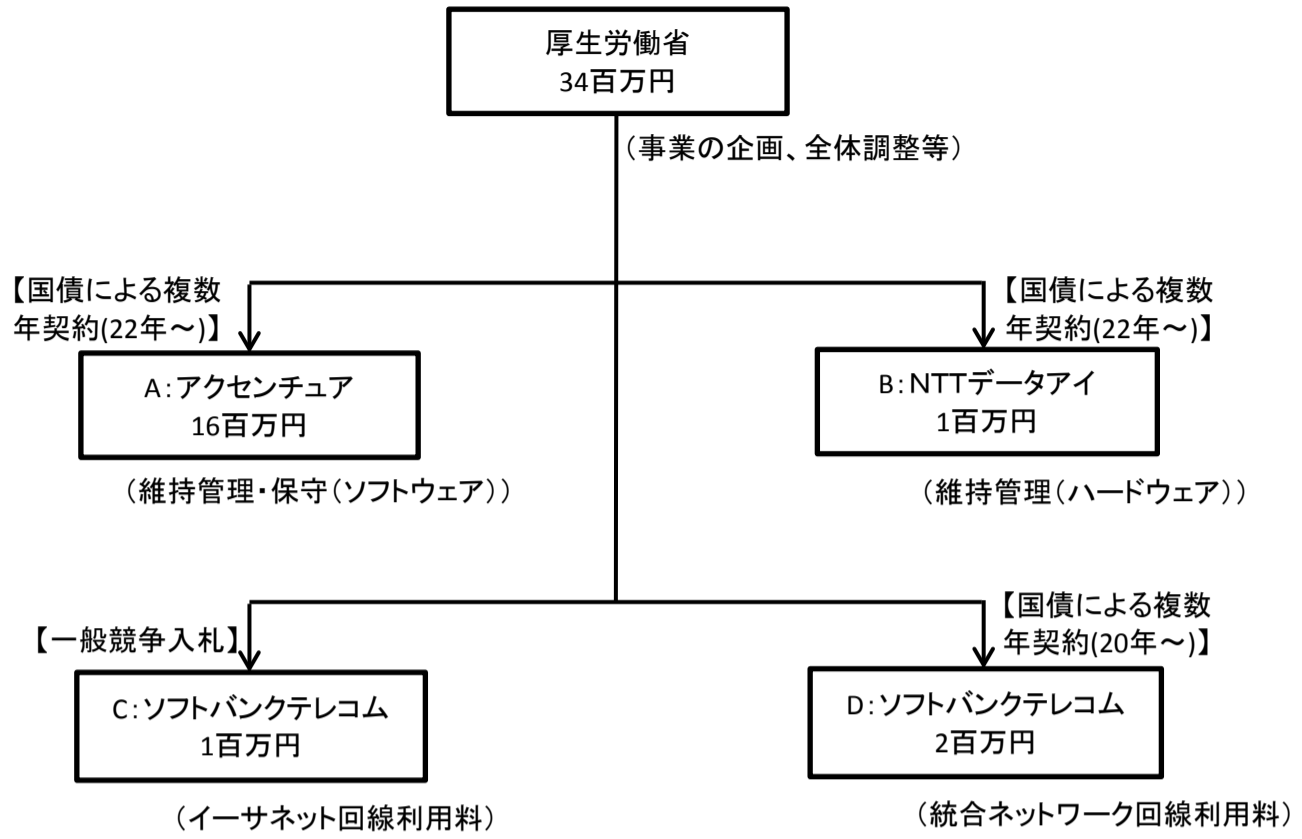


平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	保険医療機関等管理システムに要する経費		担当部局庁	保険局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	医療課		鈴木 康裕		
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	健康保険法第76条		関係する計画、通知等	診療報酬の算定方法 (平成22年厚生労働省告示第69号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保険医療機関等からの施設基準等の届出及び申請情報について、地方厚生(支)局等において効率的に管理する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	保険医療機関等からの施設基準等の届出及び申請情報について、地方厚生(支)局等において効率的に管理する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	278	477	95	60	320	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	278	477	95	60	320	
	執行額	198	442	34				
執行率(%)	71.22%	92.66%	35.79%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	保険医療機関等からの施設基準等の届出及び申請情報の効率的な管理を目的とする事業であることから、事業の性質上、定量的な成果目標(指標)を明示することは困難であると思料。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	成果指標と同様の考え方であるが、地方厚生(支)局及び事務所を1単位と捉えれば、事業の箇所数については47都道府県。		活動実績 (当初見込み)	地方厚生(支)局及び事務所	47都道府県	47都道府県	47都道府県	—
					—	—	(47都道府県)	(47都道府県)
単位当たりコスト	— (円/ )		算出根拠	—				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	維持管理(保守)費	18	29	平成25年度に当システムの更改を予定しており、この更改に向けたアプリケーションの設計・開発・テスト等に要する経費及びハードウェアの導入経費等を要求する予定。				
	回線利用料	4	0					
	システム改修費	38	38					
	システム更改費	—	254					
計	60	320						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	引き続き、一般競争入札により適正かつ効率的な予算執行に努めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の必要性が認められるため、引き続き事業内容及び予算規模を維持すべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.アクセント			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
受託	維持管理・保守(ソフトウェア)	16			
計		16	計		0
B.NTTデータアイ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
受託	維持管理(ハードウェア)	1			
計		1	計		0
C.ソフトバンクテレコム			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
受託	イーサネット回線利用料	1			
計		1	計		0
D.ソフトバンクテレコム			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
受託	統合ネットワーク回線利用料	2			
計		2	計		0

支出先上位10者リスト

A. アクセンチュア

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アクセンチュア	維持管理・保守(ソフトウェア)	16	国債による複数 年契約(22~)	—

B. NTTデータアイ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NTTデータアイ	維持管理(ハードウェア)	1	国債による複数 年契約(22~)	—

C. ソフトバンクテレコム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ソフトバンクテレコム	イーサネット回線利用料	1	1	—

D. ソフトバンクテレコム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ソフトバンクテレコム	統合ネットワーク回線利用料	2	国債による複数 年契約(20~)	—